

## 令和4年度当初予算 歳出(教育委員会)

(単位:千円)

款	項	令和4年度 当初予算額	令和3年度 当初予算額	差引増減	
3 福祉生活費	2 児童福祉費	26,446	26,633	△ 187	
10 教育費	1 教育総務費	6,860,685	6,608,228	252,457	
	2 小学校費	36,740,867	38,506,020	△ 1,765,153	
	3 中学校費	23,334,638	23,422,491	△ 87,853	
	4 高等学校費	28,607,218	28,539,892	67,326	
	5 特別支援教育費	11,651,521	13,312,625	△ 1,661,104	
	7 社会教育費	1,959,825	1,684,999	274,826	
	8 保健体育費	1,386,857	1,182,650	204,207	
11 災害復旧費	3 県立学校施設災害復旧費	110,000	110,000	0	
<b>教育委員会 計</b>		<b>110,678,057</b>	<b>113,393,538</b>	<b>△ 2,715,481</b> (△2.4%)	
	うち 事業費	構成比	(15.3%)	(14.7%)	(1.4%)
		金額	16,964,045	16,721,584	242,461
	うち 人件費	構成比	(84.7%)	(85.3%)	(△3.1%)
		金額	93,714,012	96,671,954	△ 2,957,942

<参考>

県予算額に占める教育委員会 予算額の割合	15.4%	16.1%	
県 予 算 額	717,841,000	702,731,000	15,110,000 (2.2%)

## 令和4年度 教育委員会当初予算(一般会計)の概要

### I 予算のポイント

#### 1 生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

##### 【基本方針】

「新大分スタンダード」に基づく組織的な授業改善の取組等により、引き続き、「主体的・対話的で深い学び」を実現し、学力向上を推進します。また、GIGAスクール構想の進展、新学習指導要領の全面実施等を踏まえ、1人1台端末等ICTを効果的に活用した新しい教育、STEAM教育及びグローバル教育等の取組を強化するとともに、小中高を通じて児童生徒の英語4技能(聞く・読む・話す・書く)を育成します。

体力づくりの推進については、生徒にとって望ましい運動部活動の環境構築を図ります。

特別支援教育においては、障がいのある子どもの自立や社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応えられるよう、教職員の専門性向上と教育環境の整備を推進します。また、障がいのある子どもの希望進路実現に向け、進学・就労支援体制を一層強化します。

不登校児童生徒数が増加傾向であることから、未然防止対策の推進と早期対応の徹底を図るとともに、福祉関係機関等と連携し、学校復帰・社会的自立等に向けた支援を充実します。

学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、課題となっている教員の長時間勤務改善に取り組み、子どもと向き合える時間のさらなる確保を図ります。

##### (1) 子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

学力向上においては、これに組織的に取り組む市町村教育委員会を支援するとともに、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、ICTを効果的に活用し、小・中・高等学校を通じた「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の取組を推進します。ICTの活用では、デジタル教科書やEdTech教材による個別最適化された学びや協働的な学び、へき地・小規模校における遠隔教育を実現します。また、児童生徒の英語4技能向上に向けた小中高の学びをつなぐ英語教育を推進します。さらに、小学校高学年における教科担任制の推進と小学校3年生における35人学級を整備します。

読書習慣の定着を図るため、就学前の子どもと保護者に対する家庭読書への支援を推進します。

健康・体力づくりにおいては、児童生徒のバランスのとれた体格づくりに向けた個別支援策を推進するとともに、部活動指導員や総合型地域スポーツクラブ等を活用した部活動指導の充実を図り、中高生における運動習慣の定着化を図ります。

幼児教育センターによる研修の充実を図るとともに、各地域における幼児教育アドバイザーの配置とその活用を推進します。

特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加を促進するため、「個別の指導計画」の作成・活用の推進やICT機器を活用したきめ細かな指導、一人一人の教育的ニーズに応じた通級指導の充実など教育環境を維持するとともに、「第三次大分県特別支援教育推進計画」に基づき、特別支援学校の再編整備、大分地区新設特別支援学校開校に向けた準備を進めます。また、さくらの杜高等支援学校等における、知的障がいのある生徒の一般就労促進に向けた職業教育の充実を図ります。

時代の変化を見据えた教育を展開するため、宇宙科学技術やグリーン・エネルギー等の先端科学技術分野を目指す人材の育成に向けた探究活動等を推進し、「体験型子ども科学館O-Labo」においてデジタルコンテンツを活用した専門講座を実施するとともに、開催する地域拠点を拡大します。

地方創生を担う人材を育成するため、工業系高校生の県内就職促進に向けたキャリアプロデューサーの取組を強化します。

##### (2) グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

海外高校との交流促進、国内外で活躍する人物に触れる機会の創出、海外留学や海外大学への進学に向けた機運醸成等を図ることにより、世界に通用するグローバル人材の育成を推進します。また、国内外機関と連携した双方向型オンライン講座の拡大・充実を図ります。

### (3) 安全・安心な教育環境の確保

いじめ問題への早急な対応のほか、不登校など様々な課題を抱える子どもたちを支援するため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置を拡充するとともに、1人1台端末を活用した不登校対策の充実を図ります。

生涯を通じて災害の脅威から身を守れる人材を育成するため、マイ・タイムラインや安全マップづくり等を通じた高校生による主体的な防災教育を推進します。

保健衛生用品の整備や臨時スクールバスの準備など、感染症対策の充実を図ります。

### (4) 信頼される学校づくりの推進

地域の高校が、生徒の学力向上や地域に根ざした魅力・特色ある取組を実施することにより、地元で信頼され生徒から選ばれる高校づくりを一層推進します。

学校現場を取り巻く課題が複雑化・多様化し、長時間勤務が課題となる中、教員の心身の負担が増大していることから、授業・事務をサポートするスタッフの活用、部活動改革、Web研修の推進、産休・育休取得促進に向けた取組等、学校における「働き方改革」を進め、教員の負担軽減による教育の質の向上を図ります。

### (5) 変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

子どもや学校を取り巻く課題に社会全体で対応するため、学校・家庭・地域の連携をより一層強化することにより、地域学校協働活動を推進します。

高校中退者等の就労・進学に向けた学び直しを支援するとともに、障がい者の生涯学習支援体制を構築します。

県立図書館における電子書籍サービスの充実を図ります。

## 2 芸術文化による創造県おおいの推進

### 【基本方針】

文化財・伝統文化を県民共有の財産として適切に保存・管理するとともに、文化財を活かした地域活性化に取り組みます。また、大分県文化財保存活用大綱に基づき、市町村の文化財の保存・活用に関する地域計画の作成支援を行います。

### (1) 芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり

特別支援学校で学ぶ子どもたちの創作活動の活性化と発表機会を創出するため、芸術文化活動を通じた同世代の生徒との交流や、作品展示等を行います。

### (2) 文化財・伝統文化の保存・活用・継承

大分県文化財保存活用大綱の基本理念を実現するため、文化財のデジタル・アーカイブ化等による情報発信を行うとともに、文化財を通じた地域の活性化を図ります。また、先哲史料館及び埋蔵文化財センターにおいて、児童生徒とともに、県民が文化財・伝統文化に親しみ、理解を深める機会を充実します。

## 3 スポーツの振興

### 【基本方針】

健康寿命日本一の実現に向けて、より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しむことのできる機会を充実するとともに、トップアスリートへの重点的な支援など、競技力向上に向けた取組を推進します。

### (1) 県民スポーツの推進

総合型地域スポーツクラブの魅力化・特色化を支援し、県民が身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。

### (2) 世界に羽ばたく選手の育成

優秀選手に対して必要な能力開発や育成プログラム等を実施するとともに、全国大会等での活躍が見込まれる競技において、選手の効果的な育成・強化を行います。

## II 事業体系（県政推進指針）

### 3 発展 一人を育み基盤を整え発展する大分県一

#### （1）生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造

##### ①子どもの力と意欲を伸ばす学校教育の推進

—	未来を創る学力向上支援事業	859,826
—	新時代の学びを支えるICT活用推進事業	115,673
—	未来を創るGIGAスクール推進事業	16,551
—	未来へつなぐ学び推進事業	169,542
—	読書だいすき大分っ子育成事業	4,631
—	学校部活動改革サポート事業	41,390
—	特 文化部活動改革推進事業	1,649
—	幼児教育推進体制充実事業	53,384
—	特 さくら咲く特別支援学校就労促進事業	24,195
—	特別支援学校就労達成促進事業	20,367
—	特 小中学校通級指導教室充実事業	2,061
—	次世代人材育成推進事業	33,538
—	子ども科学体験推進事業	45,199
—	特 日本語指導ステップアップ事業	9,738
—	地域との協働による高校魅力化推進事業	37,986
—	農山漁村を牽引する担い手確保・育成事業	39,149
—	特 地域とつむぐ技術人材育成事業	30,083

##### ②グローバル社会を生きるために必要な意欲と能力を備えた人材の育成

└	おおいたグローバルリーダーズ育成事業	38,765
---	--------------------	--------

##### ③安全・安心な教育環境の確保

—	いじめ・不登校等解決支援事業	267,030
—	スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	104,424
—	いじめ・不登校等防止推進事業	169,294
—	特 青少年の家不登校対策事業	3,805
—	学校防災教育推進事業	8,154
—	県立学校施設整備事業	3,688,038
—	特 学校・スポーツ活動感染対策事業	104,490
—	特別支援学校通学時感染防止対策事業	178,760
—	県立学校施設災害時緊急対応事業	110,000

##### ④信頼される学校づくりの推進

—	教員業務サポートスタッフ等派遣事業	756,052
—	働き方改革に向けた教職員Web研修推進事業	14,317
—	教員の産休・育休取得促進事業	74,724

##### ⑤変化の激しい時代を生き抜く生涯を通じた学びの支援

—	学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業	88,629
—	おおいた学びのステップアップ支援事業	2,953
—	外国人とのコミュニケーション拡大事業	2,007
—	新 生涯を通じた障がい者の学び支援事業	8,127

(2) 芸術文化による創造県おおいたの推進

①芸術文化ゾーンを核としたネットワークづくり		
└─	みんなでつくる文化活動推進事業	4,588
②文化財・伝統文化の保存・活用・継承		
└─	活かして守る大分の文化財保護推進事業	14,889

(3) スポーツの振興

①県民スポーツの推進		
└─	新 地域スポーツ活性化推進事業	7,254
②世界に羽ばたく選手の育成		
└─	新チーム大分強化事業	128,723
└─	スポーツ大分パワーアップ事業	110,000
└─	特 国民体育大会九州ブロック大会開催準備事業	58,959

(注) 事業名前の「特」はポストコロナおおいた挑戦枠事業を、「新」は新規事業を示す。

# 令和4年度当初予算の概要（教育委員会関係）

（単位：千円）

事業名	令和4年度 当初予算額 〔 令和3年度 当初予算額 〕	当初予算の概要	所管課
1 新時代の学びを支えるICT活用推進事業	115,673 (0)	ICTを効果的に活用した授業改善を図るため、ICT教育サポーターを育成・派遣するプラットフォームを運営するほか、教職員などが優良授業事例等を閲覧できるポータルサイトを開設する。	教育デジタル改革室
2 教員業務サポートスタッフ等派遣事業	756,052 (865,814)	コロナ禍における児童生徒の学びを保障するため、消毒等の事務作業を支援するスクールサポートスタッフ及びきめ細かな指導を行う学習指導員を配置する。 ・スクールサポートスタッフ 430人 ・学習指導員 363人	教育人事課
3 教員の産休・育休取得促進事業	74,724 (78,999)	教員が産休・育休を取得しやすい環境を整備するため、代替教員を早期配置し、ゆとりある引継期間を確保する。 ・休暇・休業期間に入る1～4か月前の代替教員配置の拡充 ※1学期産休取得予定者に加え、2学期に産休取得予定の小学校及び特別支援学校の学級担任教諭を対象に追加	教育人事課
4 県立学校施設整備事業	3,688,038 (4,315,890)	教育環境の改善を図るため、老朽化した校舎等の新增改築・大規模改造など県立学校の施設や設備の整備を行う。 ・第三次特別支援教育推進計画に基づく施設整備（大分地区新設特別支援学校校舎の建設、別府地区基本設計等） ・大規模改造（中津東高校など11校）など  〔債務負担行為 898,022千円〕	教育財務課
5 公立高等学校等奨学金給付事業	371,341 (354,473)	保護者の経済的理由による修学機会の喪失を防止するため、修学意欲のある高校生等に対し奨学金を給付する。 ・対象 住民税非課税世帯 第1子 年額114,100円 (110,100円→114,100円へ増額) 第2子以降 年額143,700円 (141,700円→143,700円へ増額) 生活保護受給世帯（修学旅行費相当分） 年額 32,300円 専攻科の生徒に対し奨学金を給付する。 ・対象 住民税非課税世帯及び生活保護受給世帯 年額 50,500円 (48,500円→50,500円へ増額)	教育財務課
6 いじめ・不登校等防止推進事業	169,294 (170,139)	いじめや不登校を未然に防止するため、教育相談体制を充実するとともに、先端技術を活用し早期発見に向けた取組を強化する。 【特】AIを活用したメンタルヘルス分析の試験導入 ・地域児童生徒支援コーディネーターの配置（22人）など	学校安全・安心支援課
7 いじめ・不登校等解決支援事業	267,030 (230,247)	児童生徒や保護者の悩み等に対応するため、専門的な知識・経験を有するスクールカウンセラーを小・中・高等学校・特別支援学校に配置する。 ・スクールカウンセラーを全公立小中高・特別支援学校に配置 ・ヤングケアラーのための配置拡充 ・フリースクールに通う児童生徒の支援 など	学校安全・安心支援課
8 スクールソーシャルワーカー活用不登校等対策事業	104,424 (91,003)	貧困など家庭環境に起因する不登校等の未然防止、解決のため、社会福祉士等の資格を持つスクールソーシャルワーカー（SSW）及びSSWへの助言を行うスーパーバイザーを配置する。 ・ヤングケアラーのための配置拡充 ・フリースクールに通う児童生徒の支援 など	学校安全・安心支援課
9 未来を創るGIGAスクール推進事業	16,551 (18,085)	小・中学校での主体的・対話的で深い学びを推進するため、授業のイノベーションを促すフロンティア校においてICT活用による授業改善等を実施するとともに、中山間地域等における遠隔教育の実証を行う。 ・個別最適な学びを実現するためのAIドリル等の導入 ・中山間地域等の小規模校における遠隔教育の実証 など	義務教育課

10	未来を創る学力向上支援事業	859,826 (657,993)	小・中学校での学力向上を図るため、客観的な数値目標を盛り込んだ推進計画を策定し、組織的な授業改善に取り組む市町村に対し、小学校教科担任制における専科教員（68人）等を配置する。 基礎・基本の定着に加え、活用力を把握するため、学力定着状況調査（小5及び中2）を実施する。	義務教育課
11	特 さくら咲く特別支援学校就労促進事業	24,195 (0)	特別支援学校生の一般就労を促進するため、県立さくらの杜高等支援学校の授業内容を充実させ県内の特別支援学校に配信するとともに、教員向け研修などを実施する。 ・外部講師による授業の実施と他校へのWEB配信 ・教員向け専門教科実務研修や企業実地研修の実施 など	特別支援教育課
12	未来へつなぐ学び推進事業	169,542 (120,050)	これからの時代を担う高校生の確かな学力の育成とグローバル教育及びSTEAM教育を推進するため、英語4技能育成システムを構築するほか、先端技術を活用したEdTech教材を引き続き導入する。 ・英語4技能の育成に向けた認定テストの実施と指導体制確立 ・個別最適な学びを実現するためのAIドリル等の導入 ・STEAM教育のための学習用教材の導入	高校教育課
13	次世代人材育成推進事業	33,538 (32,938)	先端科学技術分野で活躍できる人材を育成するため、高校生が宇宙やエネルギー分野に興味を持ち、挑戦意欲の醸成に繋がる講座等を実施する。 ・高校生を対象とした通年型のSTEAM課題研究講座の実施 ・STEAMフェスタ及び宇宙と科学の高校生シンポジウムの開催 など	高校教育課
14	特 地域とつむぐ技術人材育成事業	30,083 (0)	本県産業の持続的な発展を担う技術人材を確保・育成するため、工業系高校において県内就職に向けた取組を強化するとともに、先端機器を活用した授業を実践する。 ・キャリアプロデューサーの配置の拡充（2名→4名）	高校教育課
15	特 大分の未来を担うビジネスリーダー養成事業	15,942 (0)	将来の地域を担うビジネスリーダーを確保・育成するため、商業系高校において課題発見・解決能力の向上に繋がる授業等を実施する。 ・地域の課題発見・解決力を育成する「おおいた地域未来塾」の開催 ・インバウンド向け観光ツアーの企画・コンテンツの実施 ・魅力あるECサイト構築に向けた研修の実施	高校教育課
16	特 地域を支える福祉人材育成事業	2,222 (0)	地域共生社会の実現に取り組む福祉人材を確保・育成するため、福祉系高校において最先端の知識・技術習得に向けた取組を強化するとともに、福祉教育の魅力などの情報発信等を行う。 ・先進施設と連携した実習・体験活動の実施 ・海外福祉系学校とのオンライン研修 など	高校教育課
17	地域との協働による高校魅力化推進事業	37,986 (49,611)	地域の高校が中学生から選ばれ、地域に活力を生む学校となるため、地域課題探究学習の実践等地域と連携した取組を強化するとともに、中山間地域に立地する小規模高校とのネットワーク構築に取り組む。 ・高校を核としたプロジェクトの実施 限度額 基本型80万円、選択型70万円 (特別枠は上記限度額に200万円追加) ・小規模高校におけるICTを活用した教育授業の実証	高校教育課
18	子ども科学体験推進事業	45,199 (42,595)	小・中学生の科学に関する好奇心や探究心を育むため、学習機能を持った「体験型子ども科学館O-Labo（オーラボ）」を運営し、企業・大学・高校と連携した科学体験講座を実施する。 ・科学体験講座を開催するサテライトラボ（地域拠点）の拡充 【特】中学生を対象とした理数系講座「みらいの教室」の実施 など	社会教育課
19	新 生涯を通じた障がい者の学び支援事業	8,127 (0)	障がい者の生涯にわたる学びを支援するため、関係機関の連携体制を構築するとともに、地域における生涯学習の実践研究等を行う。 ・社会教育施設における教養講座の実施 など	社会教育課
20	特 文化部活動改革推進事業	1,649 (0)	教員の部活動指導の負担軽減と生徒の文化部活動への参加機会確保を図るため、文化部活動の地域移行・合同部活動実施にかかる調査研究を行う。	文化課

21	活かして守る大分の文化財保護推進事業	14,889 (13,844)	「大分県文化財保存活用大綱」に基づき、地域とともに文化財を活かして守るため、市町村の地域計画作成を支援するほか、文化財への理解・関心を高める情報発信の強化や人材育成等を行う。 ・国・県指定文化財のデジタル図鑑の制作 ・子ども学芸員による企画展の開催 など	文化課
22	学校部活動改革サポート事業	41,390 (40,307)	教員の部活動指導の負担軽減と経験者による指導の充実を図るため、部活動指導員を配置するとともに、総合型地域スポーツクラブと連携し、部活動の地域移行等に関する調査研究を行う。 ・部活動指導員 135人（公立中学校122人、県立高校13人） ・中学校部活動の総合型地域スポーツクラブへの試行的移行（2校）	体育保健課
23	特 国民体育大会九州ブロック大会開催準備事業	58,959 (0)	令和5年度に開催される国民体育大会九州ブロック大会を成功させるため、競技環境の整備等を行う。	体育保健課

※ 新 は「新規事業」、特 は「ポストコロナおおいた挑戦事業」